

「社会が求める農大気質(スタイル)」

～ 理念の共有で未来を拓く ～

平成30年3月7日(水)13:00～18:30 ※申込不要・無料

東京農業大学 厚木キャンパス (第二講義棟2301教室)

私達は豊かで平和な世界を希求している。そして私達一人ひとりには豊かな社会の構築に関することのミッションが課せられている。換言すれば、豊かな社会づくりに貢献することなくして、私達に幸せはもたらされない。永い間、といっても歴史を考えれば、まばたきにも等しい刹那にしか過ぎないのだが、半世紀近く農学を学び、農業の現場に関わって、大きな幸せを感じるとともに、農業の魅力と奥深さを実感している。それは農業が、豊かな社会を構築する多様な場面で、大きな役割を果たしている現場に立ち会っているからかも知れない。このような農業の持つ多面的な機能を持続させることが、豊かな社会の基盤を創るというものだ。幸いにして、農業、農学に関わる農大生こそ、豊かで持続的社会的構築の担い手としての可能性は極めて高く、期待は大きい。現場主義に基づいた農大生にしか、このミッションは果たせない。さて、すべからく平均化されることに価値が求められる社会で、農大生としての特性、気質が活かされるのだろうか。そもそも農大気質というものが存在するのだろうか。学内に居ては気づき難いのだが、外の社会では農大や農大生は高い評価を受けているし、大きな期待を背負っている。そこでこのシンポジウムでは、農大出身者と非出身者、現役と社会に出た人を交えて、農大スタイルの有無とその意味について、参加型の鼎談を行い、農大スタイルの獲得のための学びのヒントを提供したい。

(宮田 正信:東京農業大学総合研究所研究会就農者推進教育研究部会 前部会長)

13:00～16:30 パネルディスカッション (鼎談)

【内容】 ①「農大気質」はあるのか?

② 農大・農大生に対する社会の評価・期待

③ 農大生が失ってはいけない気質・資質

④ 農大気質を高めるための教育について

17:00～18:30 懇親会 (レストランけやき:無料)

《司会》 総合研究所研究会 就農者推進教育研究部会 部会長 平野 繁

《コーディネーター》 総合研究所研究会 就農者推進教育研究部会 前部会長 宮田 正信

《パネラー(敬称略)》

養茂 寿太郎 (東京農業大学卒。元副学長・同名誉教授・熊本県立大学元理事長)

野村 高志 (高知県指導農業士・カンキツ農家。農大生の農業実習を数多く受入)

馬場 正 (東京大学卒。東京農業大学農学部農学科教授)

■お問い合わせ■

東京農業大学総合研究所研究会 就農者推進教育研究部会 部会長:平野 繁(農学科)

東京農業大学厚木キャンパスキャリア課 担当:大淵

〒243-0034 神奈川県厚木市船子 1737 TEL:046-270-6228 FAX:046-270-6008 Email:career-a@nodai.ac.jp

交通アクセス:<http://www.nodai.ac.jp/campus/map/atsugi/>